

篠養だより



「夢と希望を抱き 心豊かに たくましく生きる子の育成 ～ 明るく いきいきと ～」
 ◇丹波篠山市立篠山養護学校 ◇丹波篠山市沢田120-1 ◇tel 552-5237 ◇fax 552-6222
 幼稚部0名 小学部21名 中学部12名 高等部14名 計47名 早期発達支援室2名 総計49名 No.10

“修学旅行”を終えて！ ～ “親の思い”に触れるとき～

今年の修学旅行はコロナの感染が少し落ち着いていたこともあり、小学部、中学部、高等部の全学部で1泊2日の旅行を行うことができました。どの学部も日中は好天に恵まれ、そのお陰で、予定していたプログラムはすべて消化できました。大きなトラブルもなく、よく食べ、よく歩き、よく寝て、大変有意義な旅行となりました。

去年はコロナの感染が拡大し、急きょ「日帰り」に変更した学部があったことを思うと、子どもたちに貴重な体験の機会が与えられたことに感謝しています。

さて、10月末からスタートした修学旅行。私は、小学部⇒中学部⇒高等部の順に、3度の旅行を引率しました。そして、普段の学校生活では目にする事のない（アフタースクールの）子どもたちに触れ、多くの感動をもらいました。そしてその旅は、親の思いに触れる旅でもありました。



【小学部 フルーツパーク（リンゴ狩り）】

『わたくしは、よくこういうことをいうのです。「親たちが、かわいい子どもを、学校に出してよこすのは、小さい旅に出してよこすことだ」と。その旅は、ほんとうに小さな旅なのです。朝だしてやれば、おそくても夕方までには、家に帰ってくるような旅なのです。けれども、親や子どもにとってみれば、やっぱり旅なのです。かわいい子には旅をさせろ。せまい家庭という集団から、やや広い社会に、修業によこすのです。（略）』（『君ひとの子の師であれば』国分一太郎 著 より抜粋）

これは、国分一太郎先生の『君ひとの子の師であれば』の一節です。

そう、この“やや広い社会”に、毎日子どもたちが来ているという事実を、そして“小さな旅”に、子を送り出す親の気持ちを、私は本当に理解できているだろうか。旅先で、そんなことを考えていました。なぜなら、子どもたちと寝食を共にし、学校で目にする事のない子どもの姿に触れることは、同時に親の日常の営み・思いに触れることでもあったからです。

朝送り出して、翌日の夕方まで帰らない旅は、もしかすると、子どもにとっても親にとっても、“大きな旅”だったのかもしれませんが、でも、旅行中、目の前の子どもたちに目を向けたとき、そこには、“やや広い社会”に緊張しながらも、弱音を吐かず、誠実に自分と向き合う姿がありました。私はその事実、強く心を打たれました。

子どもがカバンから取り出した着替えセット。丁寧に折り畳まれたその一つ一つには、心のこもった名前が書かれていました。また、解散式終了後、「お帰り。いつ電話がかかってくるか心配で夜寝れへんかったわ。」と、我が子を抱きしめる保護者の姿に、修業に送り出す親の思いに触れた気がしました。

僅か1泊2日、されど1泊2日。親元を離れての“小さな旅”は、子どもたちにとって貴重な体験の場となりました。でもそれは、学校生活においても同じこと。

これからも、日々の学校生活を通して、一つでも子どもたちの「できた」を増やし、“自立”につなげていけるよう、保護者や地域の皆様と、もっともっと思いを共有していかなければ…。逞しさを増す“小さな旅人”の姿に、そう強く感じた修学旅行でした。



【中学部 USJ コンテッドワールド】



【高等部 USJ ミッドライフイベント】

小学部修学旅行	1泊2日	10月20日～21日	姫路・神戸方面
中学部修学旅行	1泊2日	10月27日～28日	大阪方面
高等部修学旅行	1泊2日	11月21日～22日	大阪方面



※保護者の皆様、今年度の修学旅行は、コロナ禍ではありましたが、全学部が全ての行程を無事終えることができました。計画の段階から、また、旅行の準備に当たり、ご理解とご協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

第2回学校運営協議会を終えて ～「熟議」からのスタート！～

少し前になりますが、今年度2回目となる学校運営協議会を開催しました。主な内容は、ビジョンの共有を目的とした「熟議」でした。

そもそも「熟議」とは何か。・・・簡単に言うと、多くの当事者が「熟慮（よくよく考えること。十分に思いめぐらすこと）」と「議論（互いに自分の説を述べあい、論じあうこと。意見を戦わせること）」を重ねながら、課題解決をめざす対話（話し合い）のことです。話し合いの手法ですが、“地域とともにある学校づくり”を進めるには、とても有効な方法だと思っています。



【「熟議」の様子（音会議室）】

さて、ここ数年、校区を持たない（市内全域が校区となる）本校にとって、地域連携、地域への情報の発信は大きな課題でした。そこに、コロナ禍の感染拡大が拍車をかけたこともあります。私は常々、何事を始めるにも、最初は思いを共有するところから…とっていましたので、本当によい機会をいただけたと思っています。

今回の学校運営協議会において、「本校の子どもたちに、どのように育ててほしいか。」「家庭×学校×地域の協働で、何か本校の子どもたちにできることはないか。」など、テーマを絞り、委員の皆様と「熟議」ができたことは、“めざす子ども像”“子どもの自立イメージ”を共有する第一歩となりました。本来なら、第1回目の学校運営協議会で行うべき内容ですが、毎年委員の入れ替わりも多く、本校の実態を十分にご理解いただけていない中での議論は難しいと思い、この時期の実施としましたが、いつが適切かはさて置き、必ず踏まなければならない段階であることは確かです。

今回は、オブザーバーとして、丹波篠山市教育研究所の御川学校園経営指導主事にもご参加いただき、地域連携の大切さをご教授いただきました。今後は、委員の皆様お一人お一人の思いを形にできる学校運営めざし、家庭・学校・地域の三者が“Win-Win-Winの関係”を構築できるよう、この「熟議」を出発点とし、学校運営協議会のあり方を再考したいと考えています。

なお、いただいたご意見は、3回目の学校運営協議会、更には次年度へと繋げていきます。裏面に掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。委員の皆様、限られた時間ではありましたが、本校の子どもたちのために、貴重なご意見をありがとうございました。

音声メッセージの導入について

さて、既に保護者宛文書にてお伝えしていますが、国の動向を受け、丹波篠山市においても学校現場における“働き方改革”を進め、すべての教職員が「ワーク・ライフ・バランス」を確立できる環境を整えるため、先月（11月）から早朝や夜間、休日等の業務時間外の電話対応として、「音声メッセージ電話」を導入しています。

以下の通りの対応となりますので、導入についてご理解とご協力を願うとともに、冬休みを迎えるにあたり、再度ご確認いただきますようお願いいたします。

○音声メッセージ電話による応答時間（学校に電話がつかない時間）

（1）平日 午後5時30分から翌日午前7時00分迄

（2）休日（土・日曜日・祝日）、年末年始（12月29日から翌年1月3日迄）

夏季休業期間中の学校閉庁日（8月10日から8月15日）

学校行事等の振替休業日

終日

（3）長期休業期間（春季・夏季・冬季）中の平日 午後5時00分から翌日午前8時30分迄

※音声メッセージ電話には録音機能がないため、かけ直しを依頼するメッセージが流れます。

※上記「音声メッセージ電話」の運用時間は、台風等の災害時、学校行事や教職員の研修会等の諸事情により変更することがあります。

※その他、学校に関わる緊急対応が必要な場合は、連絡相談窓口

（丹波篠山市役所…079-552-6054）まで連絡をお願いします。

熟議「テーマ：篠養の子どもたちに、どのように育ててほしいか」

【委員の皆さんからの意見】

〔主として自分自身に関すること〕

- ・自分を守る子
- ・笑顔で過ごせる子
- ・食を楽しめる子
- ・自分の良いところを言える子
- ・自分のすべき事をきちんとできる子
- ・自分のやりたい事を見つけられる子
- ・安全に過ごせる子
- ・自分らしく生きていける子

〔主として人との関りに関すること〕

- ・人を笑顔にする子
- ・あいさつができる子（複数）
- ・自分の気持ち（思い）を表現できる子
- ・思ったことや感じたことを伝えられる子
- ・ありがとう、ごめんなさいの言える子
- ・人の嫌がることを言わない子
- ・思いやりのある優しい子
- ・人の良さを認められる子
- ・周囲と折り合いのつけられる子



〔主として集団や社会との関りに関すること〕

- ・約束が守れる子
- ・周りから愛される子
- ・学校生活を楽しめる子
- ・地元（地域）を大切にする子
- ・誰に対しても分け隔てなく優しく接することのできる子
- ・困っている人の手助けができる子

委員の皆様からいただいたご意見をまとめてみました。子どもたち自身に関する内容よりも、他者（地域・社会）との関りを通して育まれる内容（子どもの姿）の方が多かったです。

「家庭 × 学校 × 地域」でできる協同作業（アイデア）

- ・花植えや芋ほりなどの楽しい行事の企画
- ・生きものとのふれあい
- ・様々な体験活動の場に参加してもらう
- ・篠養応援隊を募集する
- ・行事のお手伝い
- ・地域行事への参加
- ・企業との交流
- ・お年寄りとの交流
- ・あいさつ運動
- ・地域でコミュニケーションがとれる場所をつくる（学校以外の居場所づくり）



第3回目の学校運営協議会では、ぜひ、三者での協同作業（ベストアイデア）について、検討していければと考えています。

※保護者、地域の皆様も、何かご意見がありましたら、いつでもご連絡ください。

連絡先 079-552-5237

“ささよう音楽会”を開催しました！

～ 学校運営協議会委員の皆様、ご協力ありがとうございました！ ～

先月11月29日（火）に、“ささよう音楽会”を開催しました。今年、「サンデー西村の出張音楽会」ということで、サンデー西村さんとそのメンバーの方々（ピアノ：中野喜美子さん、ヴィオラ：岸野有加利さん）をお招きし、ヴァイオリン・ヴィオラ・ピアノの演奏と楽しいトークで、心安らぐひと時を過ごしました。



【サンデー西村さんとメンバーの方々】

演奏が始まると、子どもたちは思い思いにリズムをとり、楽しそうに体を揺らしていました。また、知っている曲が流れだすと、会場が大きく盛り上がり、手拍子が体育館いっぱいに響き渡りました。

途中、ヴァイオリンに関する「クイズ」や「演奏体験」もあって、終始和やかな雰囲気に包まれていました。

この“ささよう音楽会”は、篠山養護学校運営協議会の主催事業として、委員の皆様のご協力を得て実施しています。



【体験にチャレンジする小学部児童】

新型コロナウイルスの影響もあり、残念ながら保護者・地域の皆様にご参加いただくことはできませんでしたが、コロナ禍において、本事業が実施できたことに感謝します。

ぜひ来年は、保護者・地域の皆様をお招きして実施できることを楽しみにしています。

教育長さんに、“手づくりカレンダー”を届けました！

毎年恒例となっている、本校の児童生徒による“カレンダーづくり”。

図工や美術の授業で作成した来年のカレンダーを、毎年この時期に教育長さんに届けています。

今年も、12月9日（金）に、児童生徒会執行部の皆さんが、代表で届けてくれました。

実はこのカレンダーは4セットあって、1セットは校長室にも飾ってあります。いつ見ても心温まる素晴らしい作品ばかりです。



【児童生徒会代表による贈呈式】

毎年作成されるこのカレンダーは、本当に力強く、躍動感があって、見る人の心を魅了します。

本校の玄関に入って左手にも、その1セットを掲示していますので、ご来校の際には、ぜひご覧ください。

なお、カレンダー贈呈については、教育長さんのブログ「きょういくじょう（R4.12.12）」にも掲載されています。丹波篠山市のホームページから、ご覧いただけます。

12～1月の主な予定 *新型コロナウイルス等の感染状況により、変更になる場合があります

12月	1月
16日（金）サンタがささようにやってきた 10:40～	4日（水）仕事始め【年始職員出勤開始】
19日（月）14:55下校	9日（月）成人の日
20日（火）13:30下校	幼児児童生徒冬休み終了
21日（水）給食最終日 13:30下校	10日（火）3学期始業式 11:30下校
PTA選考委員会 19:30～	11日（水）11:30下校
22日（木）11:30下校	12日（木）給食開始日 13:30下校
23日（金）2学期終業式 11:30下校	森井SC来校 13:30～
24日（土）幼児児童生徒冬休み開始（～1/9）	16日（月）14:55下校 図書館支援員来校
28日（水）仕事納め【年内職員出勤最終】	17日（火）集会活動⑪、選挙公示
29日（木）学校閉庁日（～1/3）	避難訓練、メモリアル集会（1.17）
	18日（水）課外活動⑩、ALT来校日、下校指導

